



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 参天製薬株式会社

コード番号 4536 URL <https://www.santen.com/ja>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 伊藤 毅

問合せ先責任者 (役職名) IR室 室長 (氏名) 佐久間 ギヨム TEL 06-7664-8621

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

コアベース

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア四半期利益		親会社の所有者に 帰属する コア四半期利益		基本的1株当たり コア四半期利益	希薄化後1株当たり コア四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	145,806	13.1	31,533	91.7	25,861	107.5	25,877	107.3	69.88	69.68
2023年3月期第2四半期	128,915	0.1	16,451	△32.3	12,465	△32.8	12,484	△32.8	31.73	31.69

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	145,806	13.1	25,099	—	24,075	—	19,274	—	19,280	—	30,597	—
2023年3月期第2四半期	128,915	0.1	△19,021	—	△19,103	—	△22,019	—	△22,041	—	△8,412	—

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円 銭		円 銭	
2024年3月期第2四半期	52.06		51.92	
2023年3月期第2四半期	△56.05		△56.05	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円		百万円		百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	426,984		306,454		307,190	71.9	837.80
2023年3月期	421,179		293,297		293,979	69.8	783.30

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 32.00
2024年3月期	—	16.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

コアベース

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	302,000	8.2	58,000	31.1	43,500	30.9	118.87

IFRS (フル) ベース

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	302,000	8.2	41,000	—	38,300	—	29,500	—	80.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

- IFRS (フル) ベースの数値からコアベースの数値への調整内容は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明 (P5参照)」をご覧ください。
- 2023年5月11日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2024年3月期の連結業績予想における「基本的1株当たりコア当期利益」及び「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	375,964,354株	2023年3月期	375,885,854株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	9,013,100株	2023年3月期	345,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	370,273,119株	2023年3月期2Q	393,314,840株

(注) 期末自己株式数には、株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式（2023年3月期 41,909株、2024年3月期2Q 42,245株）が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年11月7日（火）に証券アナリスト、機関投資家向けの第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書	10
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	13
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(会計上の見積りの変更)	16
(その他の費用)	16
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	16
(重要な後発事象)	17
3. 連結参考資料	18
(1) 主要製品売上収益	18
(2) 主要通貨為替レート	18
(3) 開発状況	19
(4) 設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費	21

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

① 当第2四半期連結累計期間の業績の状況

（ア）コアベース ※1（P5参照）

（単位：百万円）

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期増減率
売上収益	128,915	145,806	13.1%
コア営業利益	16,451	31,533	91.7%
コア四半期利益	12,465	25,861	107.5%
親会社の所有者に帰属する コア四半期利益	12,484	25,877	107.3%

[売上収益]

前年同期と比べ13.1%増加し、1,458億円となりました。

主力の医療用医薬品事業は、日本では薬価改定の影響等があったものの主力製品の拡大に注力、中国では前年の新型コロナウイルス感染症の再拡大からの市場の回復、アジア・EMEAでも主力製品が堅調に推移し、前年同期と比べ13.5%増加し、1,354億円となりました。

売上収益の内訳は次のとおりです。

上段：金額

下段：対前年同期増減率、（ ）は為替影響を除いた対前年同期増減率

（単位：百万円）

	日本	中国	アジア	EMEA	米州	合計
医療用医薬品	73,303	14,932	13,433	32,031	1,694	135,393
	2.2%	52.2%	21.5%	28.3%	△3.2%	13.5%
	(-%)	(52.4%)	(15.3%)	(21.2%)	(△6.5%)	(11.4%)
一般用医薬品	5,365	136	412	-	-	5,914
	5.9%	19.3%	△9.6%	-	-	4.9%
医療機器	1,683	28	27	1,473	362	3,573
	3.6%	407.7%	-	29.1%	50.1%	18.6%
その他	848	28	50	-	-	926
	0.8%	45.6%	△29.7%	-	-	△0.6%
合計	81,199	15,125	13,923	33,504	2,056	145,806
	2.4%	52.0%	20.2%	28.3%	3.3%	13.1%
	(-%)	(52.2%)	(14.2%)	(21.0%)	(△0.1%)	(11.1%)

（注）外部顧客に対する売上収益を表しています。

顧客の所在地をもとに国又は地域に分類しています。なお、アジアには中国を含んでいません。

EMEAは、欧州、中東及びアフリカです。

<医療用医薬品>

◇日本

2%台半ばの薬価改定の影響や前期末の花粉飛散に伴うアレジオン点眼液^{※2}の在庫調整の影響はあったものの、2022年11月に販売を開始したジクアスLX点眼液等の主力製品の拡大に注力した結果、前年同期と比べ2.2%増加し、733億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	34億円	（対前年同期増減率	△ 15.0%）
「タプコム配合点眼液」	13億円	（対前年同期増減率	△ 7.6%）
「コソプト配合点眼液」	21億円	（対前年同期増減率	△ 16.2%）
「エイベリス点眼液」	21億円	（対前年同期増減率	+ 11.0%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液 ^{※3} （P5参照）」	103億円	（対前年同期増減率	+ 52.7%）
・抗アレルギー点眼剤領域			
「アレジオン点眼液 ^{※2} （P5参照）」	65億円	（対前年同期増減率	△ 17.3%）
・網膜疾患治療剤領域			
「アイリーア硝子体内注射液 ^{※4} （P5参照）」	368億円	（対前年同期増減率	+ 2.7%）

◇中国

市場は前年の新型コロナウイルス感染症の再拡大から回復し、主力製品が好調に推移した結果、円換算ベースで前年同期と比べ52.2%増加し（為替影響を除いた成長率は+52.4%）、149億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	8億円	（対前年同期増減率	+ 88.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	24億円	（対前年同期増減率	+ 44.4%）
「ヒアレイン点眼液」	41億円	（対前年同期増減率	+ 58.3%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	43億円	（対前年同期増減率	+ 64.5%）

◇アジア（中国除く）

韓国等主要国では下記主要製品が堅調に推移し、円換算ベースで前年同期と比べ21.5%増加し（為替影響を除いた成長率は+15.3%）、134億円となりました。

・緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	11億円	（対前年同期増減率	△ 1.5%）
「タプコム配合点眼液」	6億円	（対前年同期増減率	+ 15.4%）
「コソプト配合点眼液」	33億円	（対前年同期増減率	+ 13.8%）
・角結膜疾患治療剤領域			
「ジクアス点眼液」	13億円	（対前年同期増減率	+ 41.7%）
「Ikervis（アイケルビス）」	9億円	（対前年同期増減率	+ 5.3%）
・眼感染症治療剤領域			
「クラビット点眼液」	15億円	（対前年同期増減率	+ 39.0%）

◇ EMEA

現地での領域別市場シェア一位の緑内障製品を中心に伸長し、第1四半期にIkervis（アイケルビス）の保険償還の精算額の見直しを行った影響もあり、円換算ベースで前年同期と比べ28.3%増加し（為替影響を除いた成長率は+21.2%）、320億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

・ 緑内障・高眼圧症治療剤領域			
「タプロス点眼液」	43億円	（対前年同期増減率	+ 10.8%）
「タプロム配合点眼液」	29億円	（対前年同期増減率	+ 30.1%）
「コソプト配合点眼液」	72億円	（対前年同期増減率	+ 18.7%）
「トルソプト点眼液」	18億円	（対前年同期増減率	+ 6.4%）
・ 角結膜疾患治療剤領域			
「Ikervis（アイケルビス）」	62億円	（対前年同期増減率	+115.4%）
「Cationorm（カチオノーム）」	15億円	（対前年同期増減率	+ 7.0%）
・ 抗アレルギー点眼剤領域			
「Verkazia（ベルカジア）」	6億円	（対前年同期増減率	+ 48.1%）

◇ 米州

販売・マーケティング活動の合理化を推進しており、円換算ベースで前年同期と比べ3.2%減少し（為替影響を除いた成長率は△6.5%）、17億円となりました。

< 一般用医薬品 >

前年同期と比べ4.9%増加し、59億円となりました。

「サンテメディカルシリーズ」「サンテボーティエシリーズ」「ソフトサンティアシリーズ」などの高価格帯品に加え、スイッチOTC製品「ヒアレインS」、「サンテFXシリーズ」、「ウェルウォッシュアイ」に注力しています。

< 医療機器 >

日本では下記レンティス コンフォートを中心とした眼内レンズ、及び、EMEAではプリザーフロ マイクロシャントの販売が好調に推移し、前年同期と比べ18.6%増加し、36億円となりました。主力製品の売上は次のとおりです。

「レンティス コンフォート」	7億円	（対前年同期増減率	+ 2.5%）
「プリザーフロ マイクロシャント」	17億円	（対前年同期増減率	+ 55.4%）

< その他 >

その他の売上収益は9億円となりました。サプリメント製品の販売、株式会社クレール（連結子会社）での無塵・無菌服のクリーニング業によるものです。

[コア営業利益]

売上総利益は、前年同期と比べ18.4%増加し、865億円となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比べ0.7%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△2.3%）、426億円となりました。

研究開発費は、前年同期と比べ13.6%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△16.7%）、123億円となりました。

以上により、コアベースの営業利益は、前年同期と比べ91.7%増加し（為替影響を除いた対前年同期増減率は+90.4%）、315億円となりました。

- ※1 Santenグループでは2015年3月期のIFRS適用を機に、IFRSによる業績（「IFRS（フル）ベース」）から一部の収益及び費用を控除した「コアベース」での財務情報を事業活動自体の収益性を示す指標として開示しています。IFRS（フル）ベースによる業績からコアベースでの業績への調整において控除する以下の収益及び費用とそれらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。
- ・製品に係る無形資産償却費
 - ・その他の収益
 - ・その他の費用
 - ・金融収益
 - ・金融費用
 - ・持分法による投資損益
 - ・企業買収に係る費用、並びに再成長のための生産性向上及び合理化等に係る費用
- ※2 アレジオンLX点眼液を含みます。
- ※3 ジクアスLX点眼液を含みます。
- ※4 製造販売元であるバイエル薬品株式会社とのコ・プロモーション製品です。

（イ）IFRS（フル）ベース

（単位：百万円）

	前第2四半期	当第2四半期	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	128,915	145,806	16,891	13.1%
営業利益（△は損失）	△19,021	25,099	44,120	－%
四半期利益（△は損失）	△22,019	19,274	41,294	－%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益（△は損失）	△22,041	19,280	41,322	－%

[売上収益]

コアベースからの調整はありません。

[営業利益]

コアベースからの調整内容として、米州の合理化に関する費用が、売上原価に1億円、販売費及び一般管理費に6億円、研究開発費に1億円それぞれ発生しました。

製品に係る無形資産償却費は、前年同期と比べ9.0%減少し（為替影響を除いた対前年同期増減率は△11.7%）、47億円となりました。これは主に、2014年にMerck & Co., Inc.（米国）から譲り受けた眼科製品及び2016年のInnFocus, Inc.（米国）買収に伴い取得したプリザーフロ マイクロシヤントに関する無形資産、並びに2015年より欧州で販売を開始した「Ikervis（アイケルビス）」及び2023年より欧州で販売を開始した「Rhopressa / Rocklatan」に関する無形資産の償却によるものです。

その他の収益は、12億円となりました。これは主に、米州における医療用医薬品事業に係る一部製品の資産譲渡によるものです。

その他の費用は、21億円となりました。これは主に、米州における医薬品販売事業の最大限合理化等に伴う構造改革費用です。

これらにより、IFRS（フル）ベースの営業利益は251億円（前年同期は190億円の営業損失）となりました。

[四半期利益]

金融収益は、11億円となりました。

金融費用は、6億円となりました。

持分法による投資損失は、16億円となりました。これは主にVerily Life Sciences LLC（米国）との合弁会社であるTwenty Twenty Therapeutics LLC（米国）の損益のうち、当社の持分に帰属する金額を計上したものです。

法人所得税費用は、前年同期から19億円増加し、48億円となりました。これは主に、上述のIFRS（フル）ベースの営業利益の増加に伴う税引前四半期利益の増加によるものです。

これらにより、四半期利益は193億円（前年同期は220億円の四半期損失）となりました。

[親会社の所有者に帰属する四半期利益]

親会社の所有者に帰属する四半期利益は193億円（前年同期は220億円の親会社の所有者に帰属する四半期損失）となりました。売上収益に対するその比率は、13.2%となりました。

② 研究開発活動

<緑内障・高眼圧症領域>

プロスタグランジンF_{2α}誘導体及びβ遮断剤の配合剤STN1011101（DE-111A、一般名：タフルプロスト／チモロールマレイン酸塩）は、中国で2022年12月に販売承認を申請しました。

FP/EP3受容体デュアル作動薬STN1012600（DE-126、一般名：セペタプロスト）は、米国で2021年12月に追加の第Ⅱ相試験を終了しました。日本では2023年6月に第Ⅲ相試験を終了しました。欧州では第Ⅱ相試験（探索的試験）を終了しました。

プロスタグランジンF_{2α}誘導体の乳化点眼剤STN1013001（DE-130A、一般名：ラタノプロスト）は、アジアで2022年3月に第Ⅲ相試験を終了しました。欧州では2023年9月に医薬品委員会が承認勧告を採択しました。

ROCK阻害剤STN1013900（AR-13324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩）は、日本で2020年11月から第Ⅲ相試験を実施しています。欧州では販売承認を取得しており、スウェーデンで2023年2月に発売しました。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得しています。

ROCK阻害剤及びプロスタグランジンF_{2α}誘導体の配合剤STN1014000（PG-324、一般名：ネタルスジルメシル酸塩／ラタノプロスト）は、欧州で販売承認を取得しており、ドイツで2023年1月に発売しました。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得しています。

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

春季カタルを対象とするSTN1007603（DE-076C、一般名：シクロスポリン）は、既に承認・販売されている欧州、アジア、カナダなどに続き、中国で2022年4月に販売承認を取得し、米国で2022年5月に発売しました。2023年7月に米国・カナダにおける製造・商業化の独占的権利をHarrow Health, Inc.（米国）へ供与しました。

ドライアイを対象とするSTN1008903（DE-089C、一般名：ジクアホソルナトリウム）は、日本で2022年11月に発売しました。アジアでは、2023年3月に韓国で販売承認を申請しました。

ドライアイを対象とするSTN1014100（一般名：オロダテロール塩酸塩）は、日本で2023年1月に第Ⅰ相／前期第Ⅱ相試験を開始しました。

フックス角膜内皮ジストロフィを対象としてアクチュアライズ株式会社と共同開発契約を締結しているSTN1010904*（一般名：シロリムス）は、米国、フランス、インドで2022年5月から前期第Ⅱ相試験を実施しています。（*開発コード（STN1010904）は、第Ⅱ相試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）

マイボーム腺機能不全を対象とするSTN1010905（一般名：シロリムス）は、日本で2022年8月に前期第Ⅱ相試験を終了し、今後の開発計画を検討中です。

アレルギー性結膜炎を対象とするSTN1011402（一般名：エピナスチン塩酸塩）は、日本で2023年3月に製造販売承認を申請しました。

<屈折異常領域>

小児における近視を対象とするSTN1012700（DE-127、一般名：アトロピン硫酸塩）は、日本で2023年10月に第Ⅱ／Ⅲ相試験を終了しました。中国では2022年6月から第Ⅱ／Ⅲ相試験を実施しています。アジアでは2020年4月に第Ⅱ相試験を終了しました。

小児における近視を対象とするSTN1012701（SYD-101、一般名：アトロピン硫酸塩）は、導入元であるSydnexis Inc.（米国）により欧州及び米国で第Ⅲ相試験が実施されています。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有しています。

近視を対象とするSTN1013400（化合物名：AFDX0250BS）は、日本で2023年5月に前期第Ⅱ相試験を開始しました。中国では2023年8月に第Ⅰ相試験を開始しました。

老視を対象とするSTN1013600（一般名：ウルソデオキシコール酸）は、米国で2023年9月に前期第Ⅱ相試験を終了しました。日本では2022年4月に第Ⅰ相試験を終了しました。

<その他の領域>

眼瞼下垂を対象とするSTN1013800（一般名：オキシメタゾリン塩酸塩）は、日本で2022年10月から第Ⅲ相試験を実施しています。

※開発コードの附番方法変更に伴い、新開発コード（STNXXXXXX）及び既存開発コード（DE-XXX）を併記しています。なお、AR-13324及びPG-324はAlcon Inc.（スイス）、SYD-101はSydnexis Inc.（米国）での開発コードです。

※STN1011700（DE-117、一般名：オミデネバグ イソプロピル）は、日本、アジアで製品名エイベリスとして販売しています。米国では製品名OMLONTIとして販売承認を取得しており、2023年7月に米国における製造・商業化の独占的権利についてVisiox Pharmaceuticals, Inc.（米国）へ供与しました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、資本及び負債の状況

当第2四半期末の資産は、4,270億円となりました。営業債権及びその他の債権の減少などがあった一方、現金の増加、棚卸資産の増加及び蘇州新工場建設に伴う有形固定資産の増加などにより前期末と比べ58億円増加しました。

資本は、3,065億円となりました。自己株式の取得による資本圧縮効果の一方、利益剰余金及びその他の資本の構成要素の増加などにより前期末と比べ132億円増加しました。

負債は、1,205億円となりました。その他の金融負債の減少、法人所得税等の支払による未払法人所得税等の減少及び賞与の支払い等によるその他の流動負債の減少などにより前期末と比べ74億円減少しました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前期末と比べ2.1ポイント増加し、71.9%となりました。

なお、SantenグループではROE（親会社所有者帰属持分利益率）を最重要指標に、キャッシュ・フローの最大化と資本コストの低減の両面から株主価値最大化に取り組んでいます。キャッシュの源泉としては営業活動から得られるインフローを基本としつつ、キャッシュ・コンバージョン・サイクル管理により運転資本の効率を高めることでキャッシュ創出力の最大化に取り組まします。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、277億円の収入（前年同期は183億円の収入）となりました。主に四半期利益193億円、減価償却費及び償却費89億円、営業債権及びその他の債権の減少150億円、並びに法人所得税の支払額68億円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、38億円の支出（前年同期は188億円の支出）となりました。主に有形固定資産の取得による支出46億円及び無形資産の取得による支出6億円などによるものです。また政策保有株式の見直しを継続して実施しており、当第2四半期は1銘柄の投資の売却による収入が8億円ありました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、197億円の支出（前年同期は161億円の支出）となりました。主に自己株式の取得による支出118億円及び配当金の支払額60億円などによるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末と比べ68億円増加し、647億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

海外事業を中心とした好調な伸長、米州医薬品販売事業の合理化の前倒しでの進行、継続的な
 全社コスト最適化の取組みの進展により、業績が想定以上に好調に推移しています。加えて、日
 本における後発品による影響の精査が完了したことなどにより、2023年9月20日に公表した連結
 業績予想を次のとおり変更することにしました。

コアベース

	売上収益	コア営業利益	コア当期利益	基本的1株当たり コア当期利益
期初発表予想 (2023年5月11日公表)	百万円 273,000	百万円 46,000	百万円 34,500	円 銭 94.27
前回修正予想 (A) (2023年9月20日公表)	285,000	50,000	37,500	102.47
今回修正予想 (B)	302,000	58,000	43,500	118.87
増減額 (B-A)	17,000	8,000	6,000	
増減率 (%)	6.0%	16.0%	16.0%	
(参考) 前期連結実績 (2023年3月期)	279,037	44,242	33,235	85.86

IFRS (フル) ベース

	売上収益	営業利益	税引前 当期利益	当期利益	基本的1株当たり 当期利益
期初発表予想 (2023年5月11日公表)	百万円 273,000	百万円 32,000	百万円 29,800	百万円 22,400	円 銭 61.24
前回修正予想 (A) (2023年9月20日公表)	285,000	35,000	32,900	25,000	68.34
今回修正予想 (B)	302,000	41,000	38,300	29,500	80.64
増減額 (B-A)	17,000	6,000	5,400	4,500	
増減率 (%)	6.0%	17.1%	16.4%	18.0%	
(参考) 前期連結実績 (2023年3月期)	279,037	△3,090	△5,799	△14,983	△38.60

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	128,915	145,806
売上原価	△55,902	△59,455
売上総利益	73,013	86,351
販売費及び一般管理費	△42,296	△43,174
研究開発費	△14,267	△12,461
製品に係る無形資産償却費	△5,166	△4,699
その他の収益	260	1,211
その他の費用	△30,566	△2,128
営業利益 (△は損失)	△19,021	25,099
金融収益	1,245	1,123
金融費用	△262	△575
持分法による投資損失	△1,064	△1,573
税引前四半期利益 (△は損失)	△19,103	24,075
法人所得税費用	△2,917	△4,800
四半期利益 (△は損失)	△22,019	19,274
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	2,092	1,245
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	10,052	9,091
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	△23
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	1,464	1,010
その他の包括利益	13,607	11,323
四半期包括利益合計	△8,412	30,597
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者持分	△22,041	19,280
非支配持分	22	△6
四半期利益 (△は損失)	△22,019	19,274
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者持分	△8,400	30,650
非支配持分	△12	△53
四半期包括利益合計	△8,412	30,597
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△56.05	52.06
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△56.05	51.92
<コアベース>		
売上収益	128,915	145,806
コア営業利益	16,451	31,533
コア四半期利益	12,465	25,861
基本的1株当たりコア四半期利益 (円)	31.73	69.88
希薄化後1株当たりコア四半期利益 (円)	31.69	69.68
コア四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	12,484	25,877
非支配持分	△19	△17
コア四半期利益	12,465	25,861

（2）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	66,173	69,487
無形資産	96,309	94,832
金融資産	28,038	29,703
退職給付に係る資産	3,438	3,094
持分法で会計処理されている投資	9,321	8,621
繰延税金資産	2,810	3,615
その他の非流動資産	1,763	1,656
非流動資産合計	207,853	211,009
流動資産		
棚卸資産	39,352	45,569
営業債権及びその他の債権	107,165	93,486
その他の金融資産	774	1,631
未収法人所得税	60	—
その他の流動資産	8,072	10,561
現金及び現金同等物	57,903	64,728
流動資産合計	213,326	215,975
資産合計	421,179	426,984

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	8,702	8,756
資本剰余金	9,789	9,373
自己株式	△364	△11,324
利益剰余金	238,071	251,706
その他の資本の構成要素	37,781	48,679
親会社の所有者に帰属する持分合計	293,979	307,190
非支配持分	△683	△735
資本合計	293,297	306,454
負債		
非流動負債		
金融負債	33,513	33,901
退職給付に係る負債	1,271	1,370
引当金	691	706
繰延税金負債	1,592	1,860
その他の非流動負債	1,312	1,611
非流動負債合計	38,378	39,447
流動負債		
営業債務及びその他の債務	44,945	43,878
その他の金融負債	25,858	22,512
未払法人所得税等	6,745	5,349
引当金	4,212	3,741
その他の流動負債	7,744	5,603
流動負債合計	89,504	81,083
負債合計	127,883	120,530
資本及び負債合計	421,179	426,984

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額
2022年4月1日残高	8,672	9,370	△718	290,477	—	8,438	19,950
四半期包括利益							
四半期利益（△は損失）				△22,041			
その他の包括利益						2,092	10,086
四半期包括利益合計	—	—	—	△22,041	—	2,092	10,086
所有者との取引額							
新株の発行	6	6					
自己株式の取得		△28	△13,007				
自己株式の処分		△2	352				
配当金				△6,405			
株式報酬取引		65					
その他				519		△519	
所有者との取引額合計	6	41	△12,655	△5,886	—	△519	—
2022年9月30日残高	8,678	9,411	△13,373	262,550	—	10,012	30,037

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2022年4月1日残高	—	914	384	29,688	337,488	△645	336,844
四半期包括利益							
四半期利益（△は損失）				—	△22,041	22	△22,019
その他の包括利益		1,464		13,642	13,642	△35	13,607
四半期包括利益合計	—	1,464	—	13,642	△8,400	△12	△8,412
所有者との取引額							
新株の発行			△5	△5	7		7
自己株式の取得				—	△13,035		△13,035
自己株式の処分				—	351		351
配当金				—	△6,405		△6,405
株式報酬取引				—	65		65
その他				△519	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△5	△523	△19,017	—	△19,017
2022年9月30日残高	—	2,378	380	42,807	310,072	△657	309,415

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	在外営業活動体の換算差額
2023年4月1日残高	8,702	9,789	△364	238,071	—	7,917	27,971
四半期包括利益							
四半期利益（△は損失）				19,280			
その他の包括利益						1,245	9,137
四半期包括利益合計	—	—	—	19,280	—	1,245	9,137
所有者との取引額							
新株の発行	54	54					
自己株式の取得		△14	△11,767				
自己株式の処分		1	807				
配当金				△6,009			
株式報酬取引		△458					
その他				364		△364	
所有者との取引額合計	54	△416	△10,960	△5,646	—	△364	—
2023年9月30日残高	8,756	9,373	△11,324	251,706	—	8,798	37,109

	その他の資本の構成要素				親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	新株予約権	合計			
2023年4月1日残高	—	1,562	331	37,781	293,979	△683	293,297
四半期包括利益							
四半期利益（△は損失）				—	19,280	△6	19,274
その他の包括利益	△23	1,010		11,370	11,370	△47	11,323
四半期包括利益合計	△23	1,010	—	11,370	30,650	△53	30,597
所有者との取引額							
新株の発行			△108	△108	0		0
自己株式の取得				—	△11,781		△11,781
自己株式の処分				—	808		808
配当金				—	△6,009		△6,009
株式報酬取引				—	△458		△458
その他				△364	—		—
所有者との取引額合計	—	—	△108	△472	△17,440	—	△17,440
2023年9月30日残高	△23	2,572	223	48,679	307,190	△735	306,454

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益（△は損失）	△22,019	19,274
減価償却費及び償却費	9,020	8,933
減損損失	30,501	2
事業構造改革費用	—	1,833
持分法による投資損益（△は益）	1,064	1,573
金融収益及び金融費用（△は益）	△227	△143
法人所得税費用	2,917	4,800
営業債権及びその他の債権の増減（△は増加）	13,827	15,049
棚卸資産の増減（△は増加）	△1,263	△4,774
営業債務及びその他の債務の増減（△は減少）	△4,430	△1,727
引当金及び退職給付に係る負債の増減（△は減少）	△7	△963
その他の流動資産の増減（△は増加）	△1,241	△2,304
未払賞与の増減（△は減少）	△3,765	△2,643
未払金の増減（△は減少）	△2,434	△3,828
その他	△110	△571
小計	21,831	34,510
利息の受取額	113	155
配当金の受取額	226	242
利息の支払額	△199	△358
法人所得税の支払額	△3,639	△6,818
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,332	27,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	△313	△6
投資の売却による収入	991	768
有形固定資産の取得による支出	△11,241	△4,644
無形資産の取得による支出	△4,683	△551
無形資産の売却による収入	—	778
持分法で会計処理される投資の取得による支出	△3,470	△135
その他	△94	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,811	△3,784
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△11,089	—
長期借入れによる収入	15,544	—
長期借入金の返済による支出	△0	△216
自己株式の取得による支出	△13,007	△11,781
配当金の支払額	△6,402	△6,008
リース負債の返済による支出	△1,717	△1,658
その他	547	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,123	△19,663
現金及び現金同等物の増減額	△16,602	4,286
現金及び現金同等物の期首残高	83,014	57,903
現金及び現金同等物の為替変動による影響	2,727	2,539
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,140	64,728

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

売上収益は、返品、リベート及び値引き等を差し引いた純額で測定しています。変動対価を含む売上収益の金額については、変動対価に関する不確実性が解消された時点で認識した収益の累計額の重大な戻入れが生じない可能性が非常に高い範囲内でのみ、取引価格に含めています。その変動対価は見積りに基づいているため、より有用な情報を入手できる場合に変更される可能性があります。第1四半期連結会計期間において、Ikervis（アイケルビス）の保険償還の精算額の協議を進める中で、精算額の見積りを変更しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益が2,315百万円増加しています。

（その他の費用）

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

前第2四半期連結累計期間に30,501百万円の減損損失を計上しており、要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書の「その他の費用」に計上しています。

これは主にEyevance Pharmaceuticals Holdings Inc.（米国）及びEyevance Pharmaceuticals LLC（米国）の製品に係る無形資産、のれん、及び有形固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失30,008百万円（製品に係る無形資産22,296百万円、のれん7,418百万円、有形固定資産294百万円）を認識したことによるものです。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

当第2四半期連結累計期間に米州における医薬品販売事業の最大限合理化等で1,833百万円の事業構造改革費用を計上しており、要約四半期連結純損益及びその他の包括利益計算書の「その他の費用」に計上しています。事業構造改革費用には主に割増退職金が含まれています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（自己株式の取得）

当社は、2022年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2022年5月11日から2022年9月30日までに12,500,000株を総額12,733百万円で取得しました。なお、当該決議に基づく自己株式の取得は、2022年9月8日（約定ベース）をもって終了しました。

（1）自己株式の取得を行う理由

利益還元強化と資本効率の更なる向上を図るために行ったものです。

（2）取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得しうる株式の総数 | 12,500,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合3.1%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 150億円（上限） |
| ④ 取得期間 | 2022年5月11日～2022年9月30日 |
| ⑤ 取得方法 | 投資一任契約に基づく市場買付け |

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

（自己株式の取得）

当社は、2023年5月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議しました。

これにより、2023年5月12日から2023年9月30日までに8,809,300株を総額11,124百万円で取得しました。

（1）自己株式の取得を行う理由

利益還元強化と資本効率の更なる向上を図るために行うものです。

（2）取得に係る事項の内容

- | | |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 取得しうる株式の総数 | 18,750,000株（上限）
（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合5.0%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 245億円（上限） |
| ④ 取得期間 | 2023年5月12日～2024年3月22日 |
| ⑤ 取得方法 | 取引一任方式による市場買付け |
| ⑥ その他 | 自己株式については、会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により、消却する予定です。
なお、投資機会や市場環境等により、一部の取得が行われない可能性もあります。 |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

3. 連結参考資料

(1) 主要製品売上収益

(単位：百万円)

品目名	地域	2023年3月期				2024年3月期			
		第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 実績	対前年 伸長率	第2四半期 累計実績	対前年 伸長率	通期 見込	対前年 伸長率
緑内障・高眼圧症治療剤領域									
コソプト配合点眼液	合計	11,496	6.9%	23,702	9.0%	12,640	9.9%	24,902	5.1%
	日本	2,468	△18.2%	4,675	△17.3%	2,068	△16.2%	3,949	△15.5%
	アジア	2,930	19.0%	6,110	18.5%	3,335	13.8%	6,481	6.1%
	EMEA	6,098	15.6%	12,917	18.0%	7,237	18.7%	14,472	12.0%
タプロス点眼液	合計	9,416	2.5%	18,744	1.7%	9,609	2.1%	18,421	△1.7%
	日本	3,999	△9.1%	7,761	△7.7%	3,398	△15.0%	6,334	△18.4%
	中国	443	△4.7%	1,045	△10.7%	836	88.8%	1,561	49.4%
	アジア	1,124	14.4%	2,277	9.6%	1,107	△1.5%	2,425	6.5%
タブコム配合点眼液	合計	4,092	19.0%	8,202	17.7%	4,737	15.8%	9,202	12.2%
	日本	1,357	△3.9%	2,649	△3.2%	1,254	△7.6%	2,177	△17.8%
	アジア	524	39.6%	1,051	28.9%	604	15.4%	1,352	28.7%
	EMEA	2,212	33.8%	4,502	31.7%	2,879	30.1%	5,672	26.0%
トルソプト点眼液	合計	2,430	6.0%	4,882	11.6%	2,488	2.4%	4,930	1.0%
	日本	516	△12.1%	980	△11.6%	454	△12.2%	885	△9.7%
	アジア	210	8.5%	454	18.8%	222	5.6%	426	△6.1%
	EMEA	1,703	12.7%	3,448	19.6%	1,813	6.4%	3,619	4.9%
エイベリス点眼液	合計	2,045	22.4%	4,156	21.5%	2,349	14.9%	4,820	16.0%
	日本	1,933	18.7%	3,905	18.2%	2,146	11.0%	4,372	12.0%
	アジア	112	166.1%	251	116.9%	203	81.3%	448	78.6%
角結膜疾患治療剤領域									
ジクアス点眼液 (ジクアスLX点眼液を含む)	合計	9,342	1.7%	20,988	11.4%	14,026	50.1%	27,369	30.4%
	日本	6,768	1.8%	16,259	21.9%	10,336	52.7%	20,882	28.4%
	中国	1,629	△3.1%	2,772	△32.0%	2,353	44.4%	3,886	40.2%
	アジア	944	10.5%	1,957	37.9%	1,338	41.7%	2,601	32.9%
ヒアレイ点眼液	合計	6,916	△16.8%	14,781	△16.9%	8,328	20.4%	16,910	14.4%
	日本	2,934	△11.7%	5,718	△11.6%	2,624	△10.6%	5,008	△12.4%
	中国	2,591	△38.6%	6,433	△28.1%	4,102	58.3%	8,793	36.7%
	アジア	1,392	80.1%	2,630	11.0%	1,602	15.1%	3,110	18.2%
Ikervis (アイケルビス)	合計	3,686	22.4%	6,839	16.8%	7,052	91.3%	12,338	80.4%
	アジア	807	50.3%	1,549	40.0%	850	5.3%	2,194	41.6%
	EMEA	2,879	16.4%	5,290	11.4%	6,203	115.4%	10,144	91.8%
Cationorm (カチオノーム)	合計	2,313	41.5%	4,010	24.2%	2,220	△4.0%	4,862	21.2%
	アジア	260	41.0%	441	△5.4%	200	△23.3%	553	25.2%
	EMEA	1,432	34.1%	2,626	26.3%	1,533	7.0%	2,931	11.6%
米州	合計	621	62.3%	943	37.7%	487	△21.5%	1,322	40.3%
	合計	7,965	△16.7%	33,550	14.1%	6,615	△16.9%	30,350	△9.5%
	日本	7,878	△17.1%	33,400	14.1%	6,516	△17.3%	30,173	△9.7%
Verkazia (ベルカジア)	合計	537	71.3%	914	44.4%	866	61.4%	1,477	61.5%
	EMEA	420	43.8%	748	28.0%	622	48.1%	1,234	64.9%
	米州	116	451.3%	166	241.2%	244	109.1%	244	34.2%
網膜疾患治療剤領域									
アイリーア硝子体内注射液	合計	35,848	△1.7%	71,257	△1.7%	36,804	2.7%	73,812	3.6%
	日本	35,848	△1.7%	71,257	△1.7%	36,804	2.7%	73,812	3.6%
眼感染症治療剤領域									
クラビット点眼液	合計	5,079	△26.0%	11,381	△2.8%	7,092	39.6%	14,073	23.7%
	日本	695	△28.5%	1,285	△26.7%	612	△11.9%	1,221	△5.0%
	中国	2,587	△41.4%	6,309	△9.4%	4,256	64.5%	8,279	31.2%
	アジア	1,045	19.6%	2,380	27.5%	1,453	39.0%	3,148	32.3%
EMEA	合計	753	25.6%	1,408	25.0%	771	2.5%	1,425	1.2%
	合計	639	△4.4%	1,331	△6.4%	655	2.5%	1,430	7.4%
	日本	639	△4.4%	1,331	△6.4%	655	2.5%	1,430	7.4%
プリザーフロ マイクロシヤント	合計	1,124	54.4%	2,429	50.6%	1,746	55.4%	3,934	62.0%
	日本	4	—	94	—	255	—	504	438.7%
	EMEA	1,119	53.8%	2,326	44.3%	1,464	30.8%	3,359	44.4%
一般用医薬品	合計	5,639	10.8%	10,628	8.7%	5,914	4.9%	11,266	6.0%
	日本	5,068	5.8%	9,595	4.5%	5,365	5.9%	10,147	5.8%
	中国	114	—	262	—	136	19.3%	303	15.7%
	アジア	456	54.1%	771	31.2%	412	△9.6%	817	5.9%

(2) 主要通貨為替レート

(単位：円)

通貨	2023年3月期 第2四半期	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	2024年3月期 (予想)
USドル	133.46	135.40	141.46	145.00
ユーロ	138.61	140.97	153.66	155.00
中国元	19.84	19.72	19.81	20.00

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。通期見込については想定為替レートで換算して表示しています。なお、地域別は主要国地域を記載しています。

（3）開発状況

2023年10月時点

■開発状況一覧表（臨床段階）

<緑内障・高眼圧症領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト／ チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国	2022年12月					
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2022年12月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
セベタプロスト	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	米国						
				日本						
				欧州	(探索的試験)					
FP受容体及びEP3受容体への作動作用（デュアル作動薬）を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2021年12月に追加のフェーズ2試験を終了。日本で、2023年6月にフェーズ3試験を終了。欧州で、フェーズ2試験（探索的試験）を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ラタノプロスト	STN1013001 / DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	欧州	2022年9月					
				アジア						
プロスタグランジンF _{2α} 誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。アジアで、2022年3月にフェーズ3試験を終了。欧州で、2022年9月に販売承認を申請、2023年9月に医薬品委員会が承認勧告を採択。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジル メシル酸塩	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Alcon社	日本						
				欧州	2023年2月					
				アジア	2023年1月					
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤。米国では、Alcon社が開発し販売中。日本で、2020年11月からフェーズ3試験を実施中。欧州で、販売承認取得しており、スウェーデンで2023年2月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ネタルスジル メシル酸塩／ ラタノプロスト	STN1014000 / PG-324	緑内障・高眼圧症	Alcon社	欧州	2023年1月					
				アジア	2023年1月					
ROCK（Rhoキナーゼ）阻害剤及びプロスタグランジンF _{2α} 誘導体の配合剤。米国では、Alcon社が開発し販売中。欧州で販売承認を取得しており、ドイツで2023年1月に発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得。										

<角結膜疾患（ドライアイを含む）領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	STN1007603 / DE-076C	春季カタル	自社	中国	2022年4月					
免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。カナダで、2019年11月に発売。米国で、2022年5月に発売。中国で、2022年4月に販売承認を取得。2023年7月に米国・カナダにおける製造・商業化の独占的権利をHarrow Health, Inc.（米国）へ供与。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ジクアホソルナトリウム	STN1008903 / DE-089C	ドライアイ	Merck Sharp & Dohme Corp. (米国)	日本	2022年11月					
				アジア	2023年3月					
角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2022年11月に発売。アジアでは、韓国で2023年3月に販売承認を申請。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オロダテロール 塩酸塩	STN1014100	ドライアイ	バーリンガー インゲルハイム	日本	(フェーズ1/2a)					
β2受容体作動薬。日本で2023年1月にフェーズ1／2a試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010904	フックス角膜内皮ジストロフィ	アクチュアライズと共同開発	米国 フランス インド		(フェーズ2a)				
mTOR阻害作用によりフックス角膜内皮ジストロフィの症状を改善する懸濁点眼剤。2022年5月から米国、フランス、インドでフェーズ2a試験を実施中。（※開発コード（STN1010904）は、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。）										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010905	マイボーム腺機能不全	自社	日本		(フェーズ2a)				
mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2022年8月にフェーズ2a試験を終了。今後の開発計画を検討中。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	STN1011402	アレルギー性結膜炎	日本ベーリンガーインゲルハイム	日本				2023年3月		
ヒスタミンH ₁ 受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。眼科用クリーム製剤。日本で、2023年3月に製造販売承認を申請。										

<屈折異常領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Singapore Health Services社、南洋理工大学	日本 中国 アジア		(フェーズ2 / 3)				
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2023年10月にフェーズ2 / 3試験を終了。中国で、2022年6月からフェーズ2 / 3試験を実施中。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012701 / SYD-101	近視	Sydnexis社	欧州						
小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。導入元であるSydnexis社により欧州及び米国でフェーズ3試験を実施中。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有している。										

化合物名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
AFDX0250BS	STN1013400	近視	ベーリンガーインゲルハイム	日本 中国		(フェーズ2a)				
小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM ₂ 受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、散瞳が抑えられる。日本で、2023年5月にフェーズ2a試験を開始。中国で、2023年8月にフェーズ1試験を開始。										

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
ウルソデオキシコール酸	STN1013600	老視	自社	米国 日本		(フェーズ2a)				
水晶体の弾力性を向上させることで老視の症状を改善。米国で、2023年9月にフェーズ2a試験を終了。日本で、2022年4月にフェーズ1試験を終了。										

<その他の領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社／導入等	地域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認	発売
オキシメタゾリン塩酸塩	STN1013800	眼瞼下垂	RVL Pharmaceuticals社	日本						
直接作用型αアドレナリン受容体作動薬。米国では、RVL Pharmaceuticals社が開発し販売中。日本で、2022年10月からフェーズ3試験を実施中。										

■2023年度第1四半期決算発表時（2023年8月3日）からの変更点

開発コード	変更点
STN1013400	中国で、2023年8月にフェーズ1試験を開始。

※STN1011700（DE-117、一般名：オミデネパグ イソプロピル）は、日本、アジアで製品名エイベリスとして販売しています。米国では製品名OMLONTIとして販売承認を取得しており、2023年7月に米国における製造・商業化の独占的権利についてVisiox Pharmaceuticals, Inc.（米国）へ供与しました。

（4）設備投資、減価償却費及び償却費、製品に係る無形資産償却費並びに研究開発費

■設備投資

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
設 備 投 資 額	13,175	21,144	4,624	13,000

（注） 使用権資産の増加は除いています。

■減価償却費及び償却費

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総 額	2,445	4,943	2,993	6,960
製 造 経 費	1,164	2,342	1,560	3,550
販 売 管 理 費	986	1,986	1,123	2,720
研 究 開 発 費	295	615	310	690

（注） 製品に係る無形資産償却費、長期前払費用の償却費及び使用権資産の償却費は除いています。

■製品に係る無形資産償却費

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績	通期見込
総 額	5,166	9,518	4,699	9,400
メ ル ク 無 形 資 産 償 却 費	2,904	5,808	2,904	5,810
Rhopressa/Rocklatan無形資産償却費	—	281	612	1,120
プリザーフロ マイクロシャント無形資産償却費	566	1,149	600	1,100
Ikervis（アイケルビス）無形資産償却費	393	798	435	790
Eyevance無形資産償却費	1,126	1,142	—	—
そ の 他	177	340	148	580

■研究開発費

（単位：百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	第2四半期 累計実績	通期実績	第2四半期 累計実績*	通期見込
研 究 開 発 費	14,267	28,297	12,461	29,000
対 売 上 収 益 比	11.1%	10.1%	8.5%	9.6%

*IFRS（フル）ベースの金額です。なお、コアベースの研究開発費は、米州の合理化に関する費用1億円を控除し、12,321百万円です。

※上記の見込等は、現在において入手可能な情報に基づいて作成しています。実際の業績等は、事業環境変化などにより、大きく結果が異なる可能性があります。